

年 組 名前：

カカオ 寿命延長に効果

萱嶋教授(短大)らハエで確認

山梨学院短大食物栄養科の萱嶋泰成教授(50)らの研究グループは11日までに、カカオに含まれる成分の一種が生命の維持に重要な酵素を活性化し、「老化抑制」と「寿命延長」に効果があるとする研究結果を発表した。カカオに含まれる成分をシヨウジヨウバエに与え、それぞれの効果を確認したとしている。萱嶋教授は「世界初の研究。人とハエは共通の遺伝子を持つており、人に対しても同じ効果が期待できるかもしれない」と話している。

研究グループによると、カカオポリフェノールには活性酸素を抑える働きがあり、生活習慣病に効果があるとされる。ただ、寿命延長に関わる有効成分について知見が多くなかったことから、食品大手「明治」と東京工科大応用生物学部の今井伸二郎教授が2018年に研究を開始。翌年から萱嶋教授が加わり、シヨウジヨウバエを使って寿命延長の効果を検証した。

研究結果によると、カカオに含まれる成分「脂肪酸トリブタミド」が、老化や肥満抑制に関与する分子として知られる酵素「サーチュイン」を活性化させることが判明。脂肪酸トリブタミドをシヨウジヨウバエに食べさせたところ、通常食に比べて平均寿命が4日程度延びることが確認できたという。

この効果を人に置き換えると、20年の日本人男性の平均寿命である81・6歳が、93・0歳まで延長することに相当するといふ。筋力の低下を防ぐ効果も確認されたといひ、研究グループは「カカオの継続的摂取には寿命を延長するだけでなく、健康寿命を延長する効果もある可能性がある」としている。

今回の研究結果は英国の科学誌「ネイチャー」系の科学誌オンライン版に掲載された。萱嶋教授は「予想通りの結果でエキサイトした。今後は人の健康長寿、病気予防に効果のある食品成分を見つけていきたい」と話している。

〈小野田洋平〉

(2022年8月12日付 山梨日日新聞1面)

問1 山梨学院短大の研究グループは、カカオに含まれる成分が、何に効果があると発表しましたか。

.....

問2 研究では、カカオに含まれる、何という成分が、何を活性化させることが判明しましたか。

..... 成分が を活性化。

問3 今後、研究グループは、何に効果がある食品成分を見つけたいと話していますか。

.....

問4 あなたが、健康のために何か研究するとしたら、何をテーマにしたいと考えますか。

.....
.....